

ORCA (**O**nline **R**esearch **C**ontrol system **A**rchitecture)

ORCA DataConverter

ユーザーガイド



ORCA DataConverter Ver. 1. 7. 4

もくじ

ORCA DataConverter の導入	4
インストールの前に	4
準備	4
Java の入手	4
インストール	5
ORCA DataConverter Setup の入手	5
ORCA DataConverter セットアップ	5
アンインストール	9
アンインストール	9
ORCA DataConveter の起動	10
共通操作	11
メニュー	11
変換タイプと出力	13
変換タイプの共通操作	13
出力	13
設問の操作	14
選択肢の編集	14
出力の制御	15

編集可能な項目	15
MA タイプ(選択・非選択)	16
MA タイプ	16
出力時ウインドウ	17
アッサム	18
アッサム・テキスト	18
アッサム・バイナリ	21
カンタム	24
カンタム・テキスト	24
カンタム・バイナリ	27
楽クロス	30
楽クロス	30
SPSS	32
SPSS	32
秀吉	34
秀吉	34
太閤	36
太閤	36
Research.jp	38
Research.jp	38
索引	40

ORCA DataConverter の導入

ORCA Dataconverter は、ORCA の回答データを他の集計アプリケーションで読み込み可能な形式に変換するアプリケーションです。

デフォルトのデータ変換としては、アッサム、カンタム、SPSS、楽クロス、秀吉、太閤に対応しています。

インストールの前に

準備

インストールする際には、不必要なアプリケーションは終了した状態でインストール作業を行います。

Java の入手

お手元の環境に **Java Runtime Enviroment (以下、JRE** がインストールされていない場合や、**JRE** のバージョンが **JRE 1.5.0_12** より古い場合は、先に **JRE** のインストールを行わなければなりません。

JRE のインストールには**管理者(アドミニストレータ)権限**が必要ですので、環境によってはシステム管理者に相談してインストールを行ってください。

JRE は **ORACLE** が無料提供しています。

<http://www.java.com/ja/> から、ダウンロードしてインストールを行ってください。

詳しくは **ORACLE** の **JRE** 配布サイトでご確認ください。

インストール

ORCA DataConverter Setup の入手

Linux 版の **ORCA Core** にログインすると、トップ画面の **Download** という項目があります。
ファイル名をクリックしてダウンロードを開始します。

■ Orca DataConvSetup-1.X.XXX.exe



OrcaDataConvSetup-(Version 名).exe というファイルがダウンロードされます。

ORCA DataConverter セットアップ

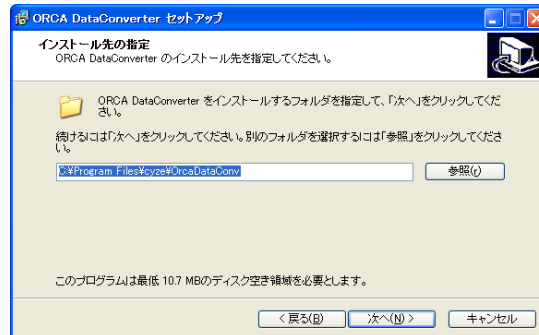
OrcaDataConvSetup.exe を実行すると、セットアップが開始されます。

■ ORCA DataConverter セットアップウィザードの開始



「次へ」を押します。

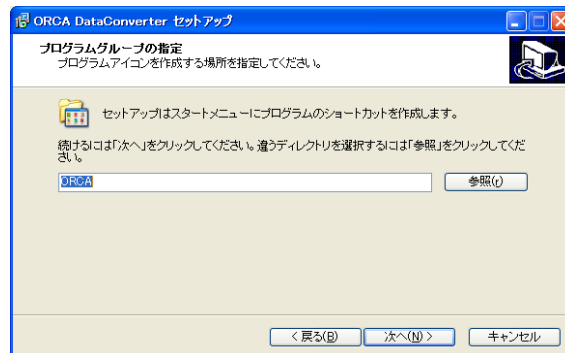
■ インストール先の指定



インストール先を指定します。デフォルトでは、**C:\Program Files\cyze\OrcaDataConv** にインストール先が指定されています。

インストール先を指定したら、「次へ」を押します。

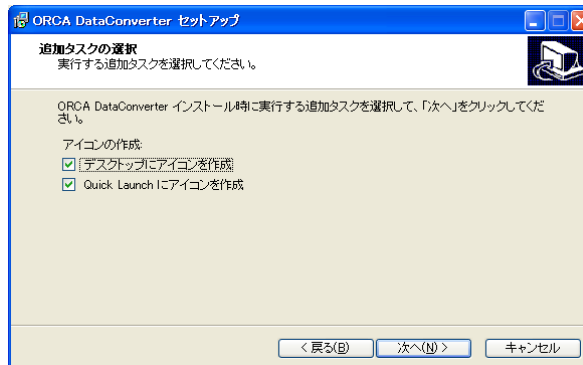
■ プログラムグループの指定



Windows のスタートボタンから表示されるプログラムのグループ名を指定します。デフォルトの指定は **ORCA** になっています。

グループ名を指定したら、「次へ」を押します。

■ 追加タスクの選択

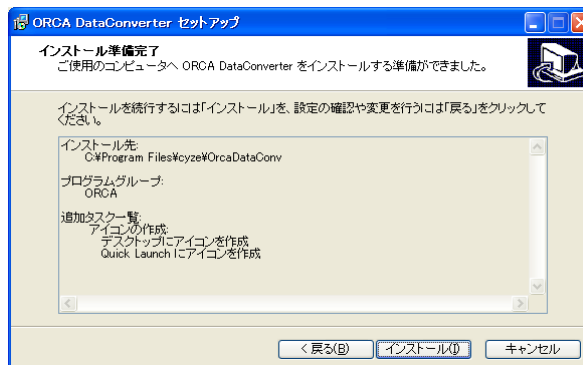


ショートカットアイコンの追加を設定します。

デフォルトでは、デスクトップと Quick Launch にショートカットアイコンを追加します。

選択をしたら「次へ」を押します。

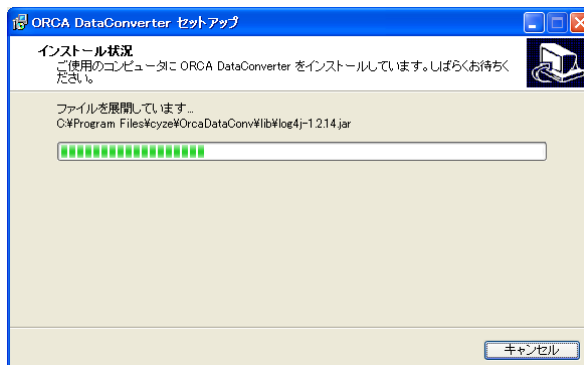
■ インストール準備完了



インストールの準備が完了しました。

問題がなければ「インストール」を押します。

■ インストール状況



インストールが開始されます。

■ ORCA DataConverter セットアップウィザードの終了



インストールが終了しました。

「完了」を押します。

アンインストール

アンインストール

ORCA DataConverter の新しいバージョンのインストールを行う場合や、ご利用しなくなった場合には

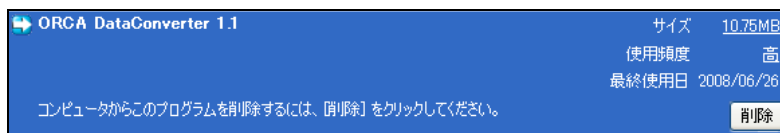
ORCA DataConverter のアンインストールを行います。

■ プログラムの追加と削除



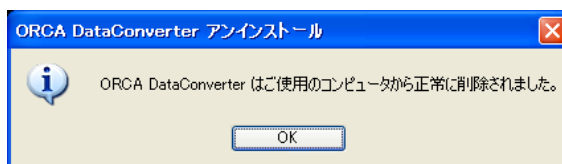
設定のコントロールパネルから**プログラムの追加と削除**を選択します。

■ ORCA DataConverter の選択



ORCA DataConverter が登録されていますので、ORCA DataConverter を選択して「削除」を押すと削除が開始されます。

■ 削除ダイアログ



アンインストールが終了しました。

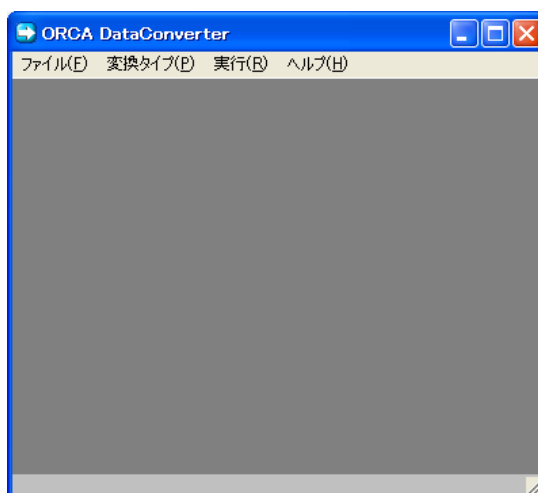
ORCA DataConveter の起動

ORCA DataConverter をデスクトップのショートカットなどから起動すると以下のような画面を表示します。

起動した直後はファイルを読み込んでいないため、出力設定などが行えません。ファイルから、変換したい回答データを指定してファイルを読み込みます。ファイルを読み込んだ後は、変換したいデータ形式を指定し、出力設定を行って変換したファイルを出力します。

また、設定を行った回答ファイル(ods 形式)には、出力設定も保存されます。次回、同じファイルを開いた場合、保存した出力設定を保持しています。

【ORCA DataConverter】



共通操作

メニュー

ファイル

項目名	解説
ファイルを開く	データ変換(コンバート)する ods ファイルを指定して開きます。ORCA DataCoverter で開けるファイルは、ORCA Core からダウンロードした ods 形式の回答データです。
上書き保存	現在開いている ods ファイルにデータ変換の出力設定を上書き保存します。
閉じる	現在開いている ods ファイルを閉じます。
終了	ORCA DataCoverter を終了します。

変換タイプ

項目名	解説
アッサム・テキスト変換	アッサムのテキスト形式に回答データを変換します。
アッサム・バイナリ変換	アッサムのバイナリ形式に回答データを変換します。
カンタム・テキスト変換	カンタムのテキスト形式に回答データを変換します。
カンタム・バイナリ変換	カンタムのバイナリ形式に回答データを変換します。
楽クロス変換	楽クロス形式に回答データを変換します。
SPSS 変換	SPSS で読み込める形式に回答データを変換します。
秀吉変換	秀吉形式に回答データを変換します
太閤変換	太閤形式に回答データを変換します。
Research. jp 変換	Research. jp 形式に回答データを変換します。

実行

項目名	解説
出力	指定された変換形式と出力設定に従いファイルを出力します。 ファイルを読み込んだときのみ有効です。
初期状態に戻す	出力設定を、ファイルを最初に開いたときの設定に戻します。

ファイルを読み込んだときのみ有効です。

ヘルプ

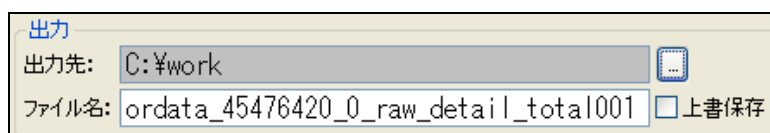
項目名	解説
バージョン情報	バージョン情報を表示します。

変換タイプと出力

変換タイプの共通操作

出力

【出力】



出力
出力先: C:¥work
ファイル名: ordata_45476420_0_raw_detail_total001 上書保存

出力先

右のボタンを押下して、出力するファイルの出力先を選択します。

ファイル名

ファイル名を設定します。

デフォルトでは、自動で作成した名前が設定されています。

上書保存

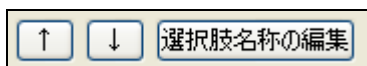
出力先に出力ファイルと同名のファイルがあった場合に上書を行う設定です。

チェックされていれば上書を行い、チェックのない場合は上書を行いません。

同名ファイルが存在して、チェックがない場合は、変換ファイルを出力できないためエラーとなります。

設問の操作

【選択肢の操作】



操作可能なときだけ有効になる操作メニューです。

ボタン	解説
	選択された設問の出力順番を一つ上に移動します。
	選択された設問の出力順番を一つ下に移動します。
	選択肢の編集ウインドウを表示します。 選択肢設問 (SA、MA) を選択したときだけ操作可能です。

選択肢の編集

【選択肢の編集】



SA、MA の選択肢名称を編集する画面です。

画面の SA、MA のどちらかの項目にあわせて選択肢名称の編集を押下します。

選択肢 ID

ORCA で設定された選択肢 No を表示します。

選択肢文

選択肢に設定されている文を設定します。

ボタン

ボタン名	解説
リセット	設定された選択肢をリセットし、初期状態(回答ファイルを最初に開いたときと同じ状態)に戻します。
キャンセル	画面の内容を保存せず、画面を閉じます。
OK	画面の内容を保存して、画面を閉じます。

出力の制御

出力のチェックボックスをチェックすることで出力・非出力を設定します。

出力の設定にチェックボックスのない行は出力できません。

編集可能な項目

設問の項目で背景が白くなっているところが編集可能な項目です。

背景が灰色の箇所は編集不可能な項目です。

MA タイプ(選択・非選択)

アッサム・テキスト、カンタム・テキスト変換を選択したときに使用できます。

既定 MA タイプ (選択)

項目名	解説
C (R)	MA の選択肢 No を右詰めにして出力します。
C (L)	MA の選択肢 No を左詰めにして出力します。
C (0)	MA の選択肢 No を 0 詰めにして出力します。
1	MA の選択された選択肢を全て 1 にして出力します。
2	MA の選択された選択肢を全て 2 にして出力します。
3	MA の選択された選択肢を全て 3 にして出力します。
4	MA の選択された選択肢を全て 4 にして出力します。
5	MA の選択された選択肢を全て 5 にして出力します。
6	MA の選択された選択肢を全て 6 にして出力します。
7	MA の選択された選択肢を全て 7 にして出力します。
8	MA の選択された選択肢を全て 8 にして出力します。
9	MA の選択された選択肢を全て 9 にして出力します。

既定 MA タイプ(非選択)

項目名	解説
BLANK	MA の非選択の選択肢を空白(ブランク)にして出力します。
0	MA の非選択の選択肢を 0 にして出力します。

MA タイプ

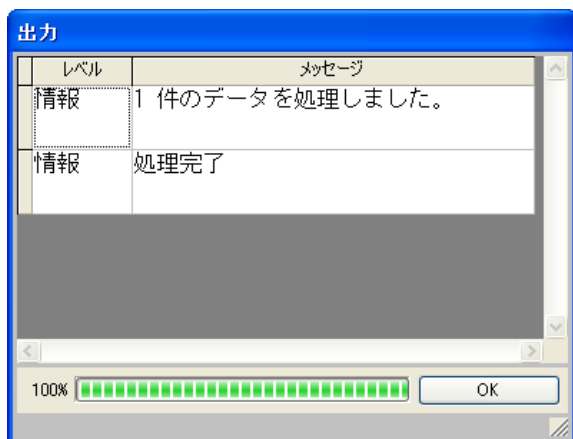
アッサム・バイナリ、カンタム・バイナリ変換を選択したときに使用できます。

既定 MA タイプ

項目名	解説
9div	MA の選択肢を 9 区切りで出力します。
10div	MA の選択肢を 10 区切りで出力します。
12div	MA の選択肢を 12 区切りで出力します。

出力時ウインドウ

【出力】



メニューの実行から、出力を選択したときに表示します。

出力時の情報を表示します。

アッサム

アッサム・テキスト

【アッサム・テキスト】

アッサム・テキスト変換

出力先:

ファイル名: 上書保存

設定

ジョブ名:

レコード長/カード長:

既定MAタイプ(選択/非選択):

シート	カラム	出力	CDN	SC	アイテム	設問名	集計 種別	設問 種別	MAタイプ (選択)	MAタイプ (非選択)	数値桁数	PRE GAP	PHASE
			-	1	SAMPLENUMBER	サンプルNo.	N				7,0	0	
			-	8	CARDNUMBER	カードNo.	N				2,0	0	
SECTION_1	A	<input checked="" type="checkbox"/>	1	10	ANSID	回答ID	N				6,0	0	
SECTION_1	B	<input checked="" type="checkbox"/>	1	16	START	回答開始時刻	D				14,0	0	
SECTION_1	C	<input checked="" type="checkbox"/>	1	30	LAST	回答終了時刻	D				14,0	0	
SECTION_1	D	<input checked="" type="checkbox"/>	1	44	PROC	回答時間(秒)	N				5,0	0	
SECTION_1	E	<input checked="" type="checkbox"/>	1	49	Q110	SA	C					0	Q110
SECTION_1	F	<input checked="" type="checkbox"/>	1	50	Q120	MA	M	規定値	規定値			0	Q120
SECTION_1	K	<input checked="" type="checkbox"/>	1	55	Q130	数値	N				5,0	0	Q130
SECTION_1	L	<input checked="" type="checkbox"/>	1	60	Q140	数値2	N				5,0	0	Q140
SECTION_1	M		-	-	Q150	DA	U						Q150
SECTION_1	N	<input checked="" type="checkbox"/>	1	65	Q210	SA	C					0	Q210

アッサム・テキストに回答データを変換します。

選択すると画面右上に「アッサム・テキスト変換」と表示されます。

出力するファイル

ファイルの生成先を指定して実行>出力を行うと、以下3ファイルが生成されます。

設問名称が75バイト以上、選択肢名称が60バイト以上の場合には警告が表示されますが、変換データは出力されます。

各ファイルはテキストエディターやExcelで開くことが可能です。

ファイル	出力ファイル名	拡張子
HTHC	at_[回答ファイル名]	hds
Data	at_[回答ファイル名]	dc
Map	at_[回答ファイル名]	map

項目一覧

項目名	解説
ジョブ名	ジョブ名を設定します。初期値として ORCA Core のジョブ名称が記載されています。
レコード長	レコード長を設定します。
カード長	自動算出されたカード長を表示します。(不変)
既定 MA タイプ(選択)	選択時の MA タイプのデフォルト値を設定します。
既定 MA タイプ(非選択)	未回答/非該当時の MA タイプのデフォルト値を設定します。
↑・↓	選択された設問の順番を上・下し、出力する行順を設定します。
選択肢名称の編集	選択肢の一覧を表示し、編集できます。
シート	該当行の、開いているファイルのシート名を表示します。(不変)
カラム	該当行の、開いているファイルのカラム位置を表示します。(不変)
出力	該当行の、出力・非出力をチェックボックスで設定します。
CDN	該当行の、出力時のカード No を表示します。(不変)
SC	該当行の、出力時のスタートカラム(開始位置)を表示します。(不変)
アイテム	該当行の、アイテム名を設定します。 デフォルトでは、設問番号を元に自動作成されたアイテム名を表示します。文字回答の場合は出力しないため変更することはできません。
設問名	該当行の、設問名を設定します。 デフォルトでは、設問名称を元に設定された設問名を表示しています。文字回答の場合は出力しないため変更することはできません。
集計種別	該当行の、 DataConverter での集計種別を表示します。(不変)
設問種別	該当行の、設問種別を表示します。(不変)
MA タイプ(選択)	該当行の、選択時の MA タイプを設定します。 MA タイプを個別に設定したい場合に使用します。
MA タイプ(非選択)	該当行の、非選択時の MA タイプを設定します。 MA タイプを個別に設定したい場合に使用します。

数値桁数	<p>該当行の、数値桁数を「(整数桁数), (小数桁数)」のように, (カンマ)で区切って設定します。</p> <p>デフォルトは、ORCA の回答内容から最大値が自動で作成されます。回答がない場合は 0,0 と表示され、コンバートは完了しません。</p>
PREGAP	出力する該当行の直前を指定されたギャップ数だけあけます。文字回答の場合は出力しないため変更することはできません。
PHASE	DataConverter で管理する一意の管理番号です。(不変)

アッサム・バイナリ

【アッサム・バイナリ】

アッサム・バイナリ変換

出力先: 上書き保存

設定
 ジョブ名:
 レコード長/カード長:
 既定MAタイプ:

選択桁名称の編集

シート	カラム	出力	CDN	SC	アイテム	設問名	集計種別	設問種別	MAタイプ	数値桁数	PRE GAP	PHASE
			-	1	SAMPLENUMBER	サンプルNo.	N			7,0	0	
			-	8	CARDNUMBER	カードNo.	N			2,0	0	
SECTION_1	A	<input checked="" type="checkbox"/>	1	10	ANSID	回答ID	N			6,0	0	
SECTION_1	B	<input checked="" type="checkbox"/>	1	16	START	回答開始時刻	D			14,0	0	
SECTION_1	C	<input checked="" type="checkbox"/>	1	30	LAST	回答終了時刻	D			14,0	0	
SECTION_1	D	<input checked="" type="checkbox"/>	1	44	PROC	回答時間(秒)	N			5,0	0	
SECTION_1	E	<input checked="" type="checkbox"/>	1	49	Q110	SA	C				0	Q110
SECTION_1	F	<input checked="" type="checkbox"/>	1	50	Q120	MA	M	規定値			0	Q120
SECTION_1	K	<input checked="" type="checkbox"/>	1	51	Q130	数値	N			5,0	0	Q130

アッサム・バイナリに回答データを変換します。

選択すると画面右上に「アッサム・バイナリ変換」と表示します。

出力するファイル

ファイルの生成先を指定して実行>出力を行うと、以下 3 ファイルが生成されます。

設問名称が 75 バイト以上、選択肢名称が 60 バイト以上の場合には警告が表示されますが、変換データは出力はされます。

.dc 以外のファイルはテキストエディターや Excel で開くことが可能です。

ファイル	出力ファイル名	拡張子
HTHC	ab_[回答ファイル名]	hds
Data	ab_[回答ファイル名]	dc
Map	ab_[回答ファイル名]	map

項目一覧

項目名	解説
ジョブ名	ジョブ名を設定します。初期値として ORCA Core のジョブ名称が記載されています。
レコード長	レコード長を設定します。
カード長	自動算出されたカード長を表示します。(不変)
既定 MA タイプ	選択時の MA タイプのデフォルト値を設定します。
↑・↓	選択された設問の順番を上・下し、出力する行順を設定します。
選択肢名称の編集	選択肢の一覧を表示し、編集できます。
シート	該当行の、開いているファイルのシート名を表示します。(不変)
カラム	該当行の、開いているファイルのカラム位置を表示します。(不変)
出力	該当行の、出力・非出力をチェックボックスで設定します。
CDN	該当行の、出力時のカード No を表示します。(不変)
SC	該当行の、出力時のスタートカラム(開始位置)を表示します。(不変)
アイテム	該当行の、アイテム名を設定します。 デフォルトでは、設問番号を元に自動作成されたアイテム名を表示します。文字回答の場合は出力しないため変更することはできません。
設問名	該当行の、設問名を設定します。 デフォルトでは、設問名称を元に設定された設問名を表示しています。文字回答の場合は出力しないため変更することはできません。
集計種別	該当行の、 DataConverter での集計種別を表示します。(不変)
設問種別	該当行の、設問種別を表示します。(不変)
MA タイプ	該当行の、選択時の MA タイプを設定します。 MA タイプを個別に設定したい場合に使用します。
数値桁数	該当行の、数値桁数を「(整数桁数),(小数桁数)」のように、(カンマ)で区切って設定します。 デフォルトは、 ORCA の回答内容から最大値が自動で作成されま

	す。回答がない場合は0,0と表示され、コンバートは完了しません。
PREGAP	出力する該当行の直前を指定されたギャップ数だけあけます。文字回答の場合は出力しないため変更することはできません。
PHASE	DataConverter で管理する一意の管理番号です。(不変)

カンタム

カンタム・テキスト

【カンタム・テキスト】

シート	カラム	出力	CDN	SO	アイテム	説明名	集計種別	説明種別	MAタイプ (選択)	MAタイプ (非選択)	数値桁数	PRE GAP	PHASE
			-	1	SAMPLENUMBER	サンプルNo.	N				7,0	0	
			-	8	CARDNUMBER	カードNo.	N				2,0	0	
SECTION_1	A	<input checked="" type="checkbox"/>	1	10	ANSID	回答 I D	N				6,0	0	
SECTION_1	B	<input checked="" type="checkbox"/>	1	18	START	回答開始時刻	D				14,0	0	
SECTION_1	C	<input checked="" type="checkbox"/>	1	30	LAST	回答終了時刻	D				14,0	0	
SECTION_1	D	<input checked="" type="checkbox"/>	1	44	PROC	回答時間(秒)	N				5,0	0	
SECTION_1	E	<input checked="" type="checkbox"/>	1	49	Q110	SA	C					0	Q110
SECTION_1	F	<input checked="" type="checkbox"/>	1	50	Q120	MA	M	規定値	規定値			0	Q120
SECTION_1	K	<input checked="" type="checkbox"/>	1	55	Q130	数値	N				5,0	0	Q130

カンタム・テキストに回答データを変換します。

選択すると画面右上に「カンタム・テキスト変換」と表示します。

出力するファイル

ファイルの生成先を指定して実行>出力を行うと、以下4ファイルが生成されます。

各ファイルはテキストエディターや Excel で開き、編集することが可能です。

ファイル	出力ファイル名	拡張子
HTHC	qt_[回答ファイル名]_hds	csv
Data	qt_[回答ファイル名]_dat	dc
Map	qt_[回答ファイル名]_map	csv
PRG	qt_[回答ファイル名]_prg	run

項目一覧

項目名	解説
ジョブ名	ジョブ名を設定します。初期値として ORCA Core のジョブ名称が記載されています。
レコード長	レコード長を設定します。
カード長	自動算出されたカード長を表示します。(不変)
既定 MA タイプ(選択)	選択時の MA タイプのデフォルト値を設定します。
既定 MA タイプ(非選択)	未回答/非該当時の MA タイプのデフォルト値を設定します。
↑・↓	選択された設問の順番を上・下し、出力する行順を設定します。
選択肢名称の編集	選択肢の一覧を表示し、編集できます。
シート	該当行の、開いているファイルのシート名を表示します。(不変)
カラム	該当行の、開いているファイルのカラム位置を表示します。(不変)
出力	該当行の、出力・非出力をチェックボックスで設定します。
CDN	該当行の、出力時のカード No を表示します。(不変)
SC	該当行の、出力時のスタートカラム(開始位置)を表示します。(不変)
アイテム	該当行の、アイテム名を設定します。 デフォルトでは、設問番号を元に自動作成されたアイテム名を表示します。文字回答の場合は出力しないため変更することはできません。
設問名	該当行の、設問名を設定します。 デフォルトでは、設問名称を元に設定された設問名を表示しています。文字回答の場合は出力しないため変更することはできません。
集計種別	該当行の、 DataConverter での集計種別を表示します。(不変)
設問種別	該当行の、設問種別を表示します。(不変)
MA タイプ(選択)	該当行の、選択時の MA タイプを設定します。 MA タイプを個別に設定したい場合に使用します。
MA タイプ(非選択)	該当行の、非選択時の MA タイプを設定します。 MA タイプを個別に設定したい場合に使用します。

数値桁数	<p>該当行の、数値桁数を「(整数桁数), (小数桁数)」のように, (カンマ)で区切って設定します。</p> <p>デフォルトは、ORCA の回答内容から最大値が自動で作成されます。回答がない場合は 0,0 と表示され、コンバートは完了しません。</p>
PREGAP	出力する該当行の直前を指定されたギャップ数だけあけます。文字回答の場合は出力しないため変更することはできません。
PHASE	DataConverter で管理する一意の管理番号です。(不変)

カンタム・バイナリ

【カンタム・バイナリ】

カンタム・バイナリ変換

出力先:

ファイル名: qb_ordata_45476420_0_raw 上書き保存

設定

ジョブ名: データ連携テスト

レコード長/カード長: 80 / 2

既定MAタイプ: 10 div

選択部名称の編集

シート	カラム	出力	CDN	SC	アイテム	説明名	集計種別	説明種別	MAタイプ	数値桁数	PRE GAP	PHASE
			-	1	SAMPLENUMBER	サンプルNo.	N			7,0	0	
			-	8	CARDNUMBER	カードNo.	N			2,0	0	
SECTION_1	A	<input checked="" type="checkbox"/>	1	10	ANSID	回答ID	N			6,0	0	
SECTION_1	B	<input checked="" type="checkbox"/>	1	16	START	回答開始時刻	D			14,0	0	
SECTION_1	C	<input checked="" type="checkbox"/>	1	30	LAST	回答終了時刻	D			14,0	0	
SECTION_1	D	<input checked="" type="checkbox"/>	1	44	PROC	回答時間(秒)	N			5,0	0	
SECTION_1	E	<input checked="" type="checkbox"/>	1	49	Q110	SA	C				0	Q110
SECTION_1	F	<input checked="" type="checkbox"/>	1	50	Q120	MA	M	規定値			0	Q120
SECTION_1	K	<input checked="" type="checkbox"/>	1	51	Q130	数値	N			5,0	0	Q130

カンタム・バイナリに回答データを変換します。

選択すると画面右上に「カンタム・バイナリ変換」と表示します。

出力するファイル

ファイルの生成先を指定して実行>出力を行うと、以下4ファイルが生成されます。

各ファイルはテキストエディターやExcelで開き、編集することが可能です。

ファイル	出力ファイル名	拡張子
HTHC	qb_[回答ファイル名]_hds	csv
Data	qb_[回答ファイル名]_dat	dc
Map	qb_[回答ファイル名]_map	csv
PRG	qb_[回答ファイル名]_prg	run

項目一覧

項目名	解説
ジョブ名	ジョブ名を設定します。初期値として ORCA Core のジョブ名称が記載されています。
レコード長	レコード長を設定します。
カード長	自動算出されたカード長を表示します。(不変)
既定 MA タイプ	選択時の MA タイプのデフォルト値を設定します。
↑・↓	選択された設問の順番を上・下し、出力する行順を設定します。
選択肢名称の編集	選択肢の一覧を表示し、編集できます。
シート	該当行の、開いているファイルのシート名を表示します。(不変)
カラム	該当行の、開いているファイルのカラム位置を表示します。(不変)
出力	該当行の、出力・非出力をチェックボックスで設定します。
CDN	該当行の、出力時のカード No を表示します。(不変)
SC	該当行の、出力時のスタートカラム(開始位置)を表示します。(不変)
アイテム	該当行の、アイテム名を設定します。 デフォルトでは、設問番号を元に自動作成されたアイテム名を表示します。文字回答の場合は出力しないため変更することはできません。
設問名	該当行の、設問名を設定します。 デフォルトでは、設問名称を元に設定された設問名を表示しています。文字回答の場合は出力しないため変更することはできません。
集計種別	該当行の、 DataConverter での集計種別を表示します。(不変)
設問種別	該当行の、設問種別を表示します。(不変)
MA タイプ	該当行の、選択時の MA タイプを設定します。 MA タイプを個別に設定したい場合に使用します。
数値桁数	該当行の、数値桁数を「(整数桁数),(小数桁数)」のように、(カンマ)で区切って設定します。 デフォルトは、 ORCA の回答内容から最大値が自動で作成されま

	す。回答がない場合は0,0と表示され、コンバートは完了しません。
PREGAP	出力する該当行の直前を指定されたギャップ数だけあけます。文字回答の場合は出力しないため変更することはできません。
PHASE	DataConverter で管理する一意の管理番号です。(不変)

楽クロス

楽クロス

【楽クロス】

質問番号	元タイプ	質問文	表組時のアイテムの質問文	質問番号	アイテム名	タイプ	選択出力モード	出力
Q1000	C	SC1.好きな果物はどれです		SC1	SC1	S	デフォルト	<input checked="" type="checkbox"/>
Q2000	C	SC2.好きな野菜はどれです		SC2	SC2	S	デフォルト	<input checked="" type="checkbox"/>
Q3000	M	SC3.ご存知のメーカーをお知らせ		SC3	SC3	M	デフォルト	<input checked="" type="checkbox"/>
Q4100	MT_C	Q1.各サービスの満足度をお知らせ		Q1	Q1	S	デフォルト	<input checked="" type="checkbox"/>
Q5200	MT_M	Q2.普段どのような店舗で購入し		Q2	Q2	M	デフォルト	<input checked="" type="checkbox"/>
Q5300	MT_N	Q2.普段どのような店舗で購入し		Q2S2	Q2S2	I		<input checked="" type="checkbox"/>
Q5600	MT_M	Q5.各企業のイメージについて		Q5	Q5	M	デフォルト	<input checked="" type="checkbox"/>
Q6100	TBL_M	Q6.あなたがご存知のゲー	1.知っている	Q6.1	Q6.1	M	デフォルト	<input checked="" type="checkbox"/>
Q6200	TBL_M	Q6.あなたがご存知のゲー	2.やったことがある	Q6.2	Q6.2	M	デフォルト	<input checked="" type="checkbox"/>

楽天リサーチ株式会社が提供する集計ソフト「楽クロス」で読み込める形式に回答データを変換します。

選択すると画面右上に「楽クロス変換」と表示します。

出力するファイル

ファイルの生成先を指定して実行>出力を行うと、以下 4 ファイルが生成されます。後述しますが、ファイルを分割しない場合は「_[ファイル番号]of[ファイル数]」の部分はファイル名に含まれません。

各ファイルはテキストエディターや Excel で開くことが可能です。

ファイル	出力ファイル名	拡張子
HTHC	[回答ファイル名]_[ファイル番号]of[ファイル数]	CSV
Data	[回答ファイル名]_[ファイル番号]of[ファイル数]	CSV
HTHC (FA)	[回答ファイル名]_[ファイル番号]of[ファイル数]_FA	CSV
Data (FA)	[回答ファイル名]_[ファイル番号]of[ファイル数]_FA	CSV

項目一覧

項目名	解説
出力文字コード	出力するファイルの文字コードを選択します。 SJIS と UTF-8 から選択します。
選択肢出力モード	1つの設問において選択肢が連番でない場合の出力方法を設定 できます。 フィル：抜けている番号の間にコードを入れて出力します。 スライド：抜けている番号を詰めてコードを連番に振りなおして 出力します。
Easy_id 列を出力しない	チェックを入れると easy_id, 回答開始日時, 回答完了日時, 回答 時間を出力しません。
ファイル分割をする	ローデータを 256 列で切りたい場合にチェックをいれます。
ファイル分割をする (FA)	FA 回答を 256 列で分割する場合にチェックをいれます。
選択肢名称の編集	選択肢の一覧を表示し、編集できます。
回答データタブ	コードおよび数値タイプの設問の設定タブです
FA データタブ	文字回答設問の設定タブです。
設問番号	ORCA Editor で設定した設問番号が表示されます(不変)
元タイプ	ORCA Editor で設定した設問タイプが表示されます(不変)
表組時のアイテムの質 問文	テーブル設問の子設問の設問名称が表示されます。
質問番号	問ラベルが表示されます。
アイテム名	問ラベルが表示されます。
タイプ	楽クロスでの設問タイプが表示されます。(不変)
選択肢出力モード	1つの設問において選択肢が連番でない場合の出力方法を個別 に設定します。
出力	該当行の、出力・非出力をチェックボックスで設定します。

SPSS

【SPSS】

SPSS変換

出力先: C:\Documents and Settings\hoshino\desk ...

ファイル名: sp_ordata_spss 上書保存

変換最大文字長: 8バイト越えを警告 64バイト越えを警告 コメント情報を出力する

MA値ラベル 0 / 1:

無回答値(S,MA) / 数値回答:

↑ ↓ 選択肢名称の編集

シート	カラム	出力	変換	設問名	集計種別	設問種別	数値桁数	PHASE
SECTION_1_1	A	<input type="checkbox"/>	ANSID#	サンプル番号	N		7,0	
SECTION_1_1	B	<input checked="" type="checkbox"/>	START#	回答開始時刻	D		14,0	
SECTION_1_1	C	<input checked="" type="checkbox"/>	LAST#	回答終了時刻	D		14,0	
SECTION_1_1	D	<input checked="" type="checkbox"/>	PROC#	回答時間(秒)	N		5,0	
SECTION_1_1	E	<input checked="" type="checkbox"/>	Q1#	好きな果物は何ですか	C			Q1000
SECTION_1_1	G	<input checked="" type="checkbox"/>	Q2#	好きな野菜は何ですか	C	CB		Q2000
SECTION_1_1	H	<input checked="" type="checkbox"/>	Q3#	ご存知のメーカーをお知らせください	M			Q3000
SECTION_1_1	N	<input type="checkbox"/>	Q4#	各サービスの満足度を教えてください	M	MT		Q4000
SECTION_1_1	Q	<input checked="" type="checkbox"/>	Q5#	満足度 [Q4000.1][通話の満足度]	C			Q4000_1xQ4100
SECTION_1_1	R	<input checked="" type="checkbox"/>	Q6#	満足度 [Q4000.2][電	C			Q4000_2xQ4100
SECTION_1_1	S	<input checked="" type="checkbox"/>	Q7#	満足度 [Q4000.3][メモ	C			Q4000_3xQ4100
SECTION_1_1	T	<input checked="" type="checkbox"/>	Q8#	満足度 [Q4000.4][電	C			Q4000_4xQ4100

SPSS 形式に回答データを変換します。

選択すると画面右上に「SPSS 変換」と表示されます。

出力するファイル

ファイルの生成先を指定して実行>出力を行うと、以下1ファイルが生成されます。こちらにラベルと回答が記載されています。SPSS を起動し、必要な部分をコピーして貼り付けてください。設問名称、選択肢名称が 80 バイト以上の場合には警告が表示されますが、変換データは出力されます。

ファイルはテキストエディターや Excel で開くことが可能です。

ファイル	出力ファイル名	拡張子
SPSS	sp_[回答ファイル名]	sps

項目一覧

項目名	解説
変数最大文字長	変数の長さ
コメント情報を出力する	チェックを入れると、変数、PHASE、設問名が出力されます。
MA 値ラベル 0/1	MA の回答として 0 が入った場合のラベルと 1 が入った場合のラベルを指定します。初期値は 0 が「いいえ」、1 は「はい」と記載されています。
無回答値 (SA, MA/数値回答)	回答がない場合の値を設定します。
↑・↓	選択された設問の順番を上・下し、出力する行順を設定します。
選択肢名称の編集	選択肢の一覧を表示し、編集できます。
シート	該当行の、開いているファイルのシート名を表示します。(不変)
カラム	該当行の、開いているファイルのカラム位置を表示します。(不変)
出力	該当行の、出力・非出力をチェックボックスで設定します。
変数	該当行の、変数値を表示します。
設問名	該当行の、設問名を設定します。 デフォルトでは、設問名称を元に設定された設問名を表示しています。
集計種別	該当行の、DataConverter での集計種別を表示します。
設問種別	該当行の、設問種別を表示します。
数値桁数	該当行の、数値桁数を「(整数桁数), (小数桁数)」のように、(カンマ)で区切って設定します。 デフォルトは、ORCA の回答内容から最大値が自動で作成されます。回答がない場合は 0,0 と表示され、コンバートは完了しません。
PHASE	DataConverter で管理する一意の管理番号です。

秀吉

【秀吉】

シート	カラム	出力	アイテム	質問名	集計種別	質問種別	数値桁数	PHASE
SECTION_1_1	A	<input checked="" type="checkbox"/>	ANSID	サンプル番号	N		7,0	
SECTION_1_1	B	<input checked="" type="checkbox"/>	START	回答開始時刻	D		14,0	
SECTION_1_1	C	<input checked="" type="checkbox"/>	LAST	回答終了時刻	D		14,0	
SECTION_1_1	D	<input checked="" type="checkbox"/>	PROC	回答時間(秒)	N		5,0	
SECTION_1_1	E	<input checked="" type="checkbox"/>	F1	好きな果物(はどれですか？(SA見本))	C			Q1000
SECTION_1_1	G	<input checked="" type="checkbox"/>	F2	好きな野菜(はどれですか？(フルタウン見本))	C	CB		Q2000
SECTION_1_1	H	<input checked="" type="checkbox"/>	F3	ご存知のメーカーをお知らせください	M			Q3000
SECTION_1_1	N	<input type="checkbox"/>	F4	各サービスの満足度をお知らせください	M	MT		Q4000
SECTION_1_1	Q	<input checked="" type="checkbox"/>	F4-1	満足度 [04000.1][通話のしやすさ]	C			Q4000_1xQ4100
SECTION_1_1	R	<input type="checkbox"/>	F4-2	満足度 [04000.2][電波の入り具合]	C			Q4000_2xQ4100

秀吉形式に回答データを変換します。

選択すると画面右上に「秀吉変換」と表示されます。

出力するファイル

ファイルの生成先を指定して実行>出力を行うと、以下2ファイルが生成されます。

ファイルはテキストエディターや Excel で開くことが可能です。

ファイル	出力ファイル名	拡張子
HTHC	hd_[回答ファイル名]	hds
Data	hd_[回答ファイル名]	csv

項目一覧

項目名	解説
↑・↓	選択された設問の順番を上・下し、出力する行順を設定します。
選択肢名称の編集	選択肢の一覧を表示し、編集できます。
シート	該当行の、開いているファイルのシート名を表示します。(不変)
カラム	該当行の、開いているファイルのカラム位置を表示します。(不変)
出力	該当行の、出力・非出力をチェックボックスで設定します。
アイテム	該当行の、アイテム名を設定します。 デフォルトでは、設問番号を元に自動作成されたアイテム名を表示します。
設問名	該当行の、設問名を設定します。 デフォルトでは、設問名称を元に設定された設問名を表示しています。
集計種別	該当行の、DataConverter での集計種別を表示します。
設問種別	該当行の、設問種別を表示します。
数値桁数	該当行の、数値桁数を「(整数桁数), (小数桁数)」のように、(カンマ)で区切って設定します。 デフォルトは、ORCA の回答内容から最大値が自動で作成されます。回答がない場合は 0,0 と表示され、コンバートは完了しません。
PHASE	DataConverter で管理する一意の管理番号です。

太閤

太閤

【太閤】

シート	カラム	出力	SN	SC	アイテム	質問名	集計種別	設問種別	数値桁数(小数部)	PHASE
SECTION_1_1	A	<input checked="" type="checkbox"/>	1	2	ANSID	サンプル番号	N		0	
SECTION_1_1	B	<input checked="" type="checkbox"/>	1	3	START	回答開始時刻	D		0	
SECTION_1_1	C	<input checked="" type="checkbox"/>	1	4	LAST	回答終了時刻	D		0	
SECTION_1_1	D	<input checked="" type="checkbox"/>	1	5	PROC	回答時間(秒)	N		0	
SECTION_1_1	E	<input checked="" type="checkbox"/>	1	6	Q1000	好きな果物は何ですか？(SA見本)	C			Q1000
SECTION_1_1	G	<input checked="" type="checkbox"/>	1	8	Q2000	好きな野菜は何ですか？(フルダウン見本)	C	CB		Q2000
SECTION_1_1	H	<input checked="" type="checkbox"/>	1	9	Q3000	ご存知のメーカーをお知らせください	M			Q3000
SECTION_1_1	N	<input type="checkbox"/>			Q4000	各サービスの満足度をお知らせください	M	MT		Q4000

太閤形式に回答データを変換します。

選択すると画面右上に「太閤変換」と表示されます。

出力するファイル

ファイルの生成先を指定して実行＞出力を行うと、以下 2 ファイルが生成されます。

ファイルはテキストエディターや Excel で開くことが可能です。

SN は、256 列を超えるごとに、順に連番として付与されます。

Data の番号 B は、15000 行を超えるごとに、順に連番として付与されます。

ファイル	出力ファイル名	拡張子
HTHC	tko_[回答ファイル名]	hds
Data	tko_[回答ファイル名]-[SN]-[番号 B]	csv

項目一覧

項目名	解説
ジョブ名	ジョブ名を設定します。初期値として ORCA Core のジョブ名称が記載されています。
↑・↓	選択された設問の順番を上・下し、出力する行順を設定します。
選択肢名称の編集	選択肢の一覧を表示し、編集できます。
シート	該当行の、開いているファイルのシート名を表示します。(不変)
カラム	該当行の、開いているファイルのカラム位置を表示します。(不変)
出力	該当行の、出力・非出力をチェックボックスで設定します。
SN	ファイルの列数が 256 を超えるごとに増えるファイル番号を表示します。(不変)
SC	該当行の、出力時のスタートカラム(開始位置)を表示します。(不変)
アイテム	該当行の、アイテム名を設定します。 デフォルトでは、設問番号を元に自動作成されたアイテム名を表示します。
設問名	該当行の、設問名を設定します。 デフォルトでは、設問名称を元に設定された設問名を表示しています。
集計種別	該当行の、 DataConverter での集計種別を表示します。(不変)
設問種別	該当行の、設問種別を表示します。(不変)
数値桁数 (小数部)	該当行の、小数の桁数を設定します。 デフォルトは、 ORCA の回答内容から最大値が自動で作成されます。
PHASE	DataConverter で管理する一意の管理番号です。(不変)

Research.jp

【research.jp】

Research.jp

出力
出力先: C:\Documents and Settings\hoshino\desk

ファイル名: rchjp_ordata_56860304_0_raw 上書き保存

設定
ジョブ名: ABの画像

↑ ↓ 選択銘柄名の編集

シート	カラム	出力	シート名	列	列番号	ラベル名	質問名	集計種別	質問種別	PHASE
SECTION_1	A	<input checked="" type="checkbox"/>	1;ANSID~Q3000	B	2	ANSID	サンプル番号	N		
SECTION_1	B	<input checked="" type="checkbox"/>	1;ANSID~Q3000	C	3	START	回答開始時刻	D		
SECTION_1	C	<input checked="" type="checkbox"/>	1;ANSID~Q3000	D	4	LAST	回答終了時刻	D		
SECTION_1	D	<input checked="" type="checkbox"/>	1;ANSID~Q3000	E	5	PROC	回答時間(秒)	N		
SECTION_1	E	<input checked="" type="checkbox"/>	1;ANSID~Q3000	F	6	Q2400	性別 (SA)	C	CB	Q2400
SECTION_1	F	<input checked="" type="checkbox"/>	1;ANSID~Q3000	G	7	Q2500	年齢 (FA)	U		Q2500
SECTION_1	G	<input checked="" type="checkbox"/>	1;ANSID~Q3000	H	8	Q2600	職業 (SA)非必須	C	CB	Q2600
SECTION_1	I	<input checked="" type="checkbox"/>	1;ANSID~Q3000	J	10	Q2700	居住地域 (MA)非必須	M		Q2700
SECTION_1	Q	<input checked="" type="checkbox"/>	1;ANSID~Q3000	R	18	Q2800	クチコミ経験 (MA)非該当	M		Q2800

株式会社クロス・マーケティング社が提供する集計ソフト「research.jp」形式に回答データを変換します。

選択すると画面右上に「Research.jp」と表示されます。

出力するファイル

ファイルの生成先を指定して実行>出力を行うと、以下1ファイルが生成されます。

1シート目にはラベル対応表、2シート目以降がデータとなっています。

ファイル	出力ファイル名	拡張子
HTHC	rchjp_[回答ファイル名]	xls

項目一覧

項目名	解説
ジョブ名	ジョブ名を設定します。初期値として ORCA Core のジョブ名称が記載されています。
↑・↓	選択された設問の順番を上・下し、出力する行順を設定します。
選択肢名称の編集	選択肢の一覧を表示し、編集できます。
シート	該当行の、開いているファイルのシート名を表示します。(不変)
カラム	該当行の、開いているファイルのカラム位置を表示します。(不変)
出力	該当行の、出力・非出力をチェックボックスで設定します。
シート名	データが存在するシート名が表示されます (不変)
列	該当行の、出力列がアルファベット表記で表示されます。(不変)
列番号	該当行の、出力列が数値で表示されます。(不変)
ラベル名	該当行の、アイテム名を設定します。 デフォルトでは、設問番号を元に自動作成されたアイテム名を表示します。
設問名	該当行の、設問名を設定します。 デフォルトでは、設問名称を元に設定された設問名を表示しています。
集計種別	該当行の、 DataConverter での集計種別を表示します。(不変)
設問種別	該当行の、設問種別を表示します。(不変)
PHASE	DataConverter で管理する一意の管理番号です。(不変)

索引

B	
BLANK	16
C	
C (0)	16
C (L)	16
C (R)	16
D	
div (9div 10div 12div)	17
J	
Java Runtime Enviroment	4
JRE	4
O	
ORACLE	4
あ	
アッサム・テキスト	18
アッサム・バイナリ	21
う	
上書保存	13
え	
SPSS	32
か	
カンタム・テキスト	24
カンタム・バイナリ	27
き	
既定 MA タイプ	17
既定 MA タイプ (選択)	16
既定 MA タイプ (非選択)	16
し	
出力	13
出力先	13
せ	
選択肢の編集	14
た	
太閤	36
ひ	
秀吉	34
ふ	
ファイル名	13
ら	
楽クロス	30
り	
research.jp	38

ORCA DataConverter ユーザーガイド

2008年7月1日 初版発行

2012年4月17日 第二版

発行者 株式会社サイズ

発行日 2012年4月17日

連絡先 株式会社サイズ

〒150-0043

東京都渋谷区道玄坂1-18-1 渋谷 INCS7 階

電話 03-5459-3817

URL <http://www.cyze.jp/>

E-mail info@cyze.jp

本書の無断複写複製（コピー）は、特定の場合を除き、発行者の権利侵害になります。